葉山町障害者福祉計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

No	ページ	いただいたご意見	町の対応
1	3	全体を通して「障害」としているが、法律や計画などの表記はそれで良いが、文章中の記載は「障がい」と改めた方が良いと考える。「障害のある人」の表現方法は理解できるが、害の漢字は気になる	3ページに障害の「害」の字に対する町の考え方が掲載されております。町では、法律に基づいて「障害」の表記を使用することとし、本計画上の修正は行いません。
2	32	32ページにアンケート調査へ寄せられた意見が掲載されている。大変貴重なものであり、新計画内で対応するもの、できないもの、今後検討していけそうなもの等、併記はできないでしょうか。50ページに「アンケート調査からも」と一部の記載はあるのに読み込まないとわからない。	今回は障害福祉計画の改訂のため、障害者計画は時点修正のみとし、本計画上の修正は行いません。
3	39	基本理念にある、障がいのある人も、ない人も、共存共栄出来るまちにするためには、障がいのない人間の障がい者に対する理解であり、障がいに対する知識をしっかりと持つことだと思います。その為には、学校の中での教育であったり、年間を通した、勉強会や講習会を地道に増やし続けていくことが重要だと考えます。是非、具体的な年間計画を立て、盛り込んで欲しいと思いました。	葉山町自立支援協議会の議論の中で、計画的に進めて参ります。
4	40～42	全体的に文字が小さくて読みづらいのでは。対応は難しいか。長い文章が見受けられるので、簡潔な表現を多用すれば可能だと思うが。基本目標の説明文はもっと字を大きくしたほうが良い。	ご意見を踏まえ可能な限り修正します。
5	42	42 P：インクルーシブ教育の説明文は、基本目標7の文章の下が良い。基本目標6の文中表記に※を着ければ良いこと	ご意見を踏まえ修正します。
6	48～87	48 Pからの基本目標の記載は、大変わかりやすく体系的に纏められているが、例えば「改善」とした事業は、何のように改善していくのかなど、具体的な事業実施項目などを明記してはどうか	今後改善方法を検討していくため、本計画上では具体的な事業は記載できません。
7	52	52 Pの3)に、以前実施していた運動会の復活を記載して欲しい	運動会は、障害ある人向けの事業となっていました。葉山町自立支援協議会において、今後は地域や障害のある人を取り巻く環境において交流事業を行うべきであるとの意見が出され、事業の転換を図っています。その方法として運動会を復活するべきであるといった意見が出されない限り、復活は考えておりませんので、本計画上の修正は行いません。
8	55	55 Pの5)に、たんぼぼ教室の運営について、センター長を役場職員から任命するか、もしくは外部からの有識者を招聘するかなど、組織の見直しと構築を記載すべきと強く要望する	法の改正により、平成32年度に児童発達支援センターの設置が義務付けられたことから、組織のあり方についても検討していきます。
9	68	68 P：相談支援ファイル「こん葉°す」と追記して欲しい	ご意見を踏まえ修正します。
10	73	73 P：縮小ではなく改善ではないか。冷たい施策に思える	実際には縮小になるため、本計画上の修正は行いません。
11	136	本編は全体を通して、非常にわかりやすく体系的に纏められていると思う。大切なのは、毎年行う事業評価のサイクルを、役場職員を中心として関係各位や機関と密に行い、翌年の事業計画にしっかりと盛り込んでいくことと考える。計画の着実な推進と事業評価及びローリングをお願いする	葉山町自立支援協議会において事業評価を行い、適切な事業運営を図って参ります。